

協同

月刊 BUSINESS-LINK 中小企業連携組織活性化情報
京都府中小企業団体中央会

newsline

2022/11

助け合い隊 連携支援事業 北部異業種交流会を初開催	1
中央会NEWS SDGsセミナーを開催	2～3
中央会NEWS 京都府中小企業女性中央会 MOCOフォーラムを開催	4
公務員倫理月間	4
税を考える週間	4
中央会NEWS 外国人技能実習制度適正化事業 令和4年度講習会	5
労働保険の成立(加入)手続きはおすすめですか	5
京都経済お天気	7
助け合いプラットフォーム イベント情報大募集!!	8

助け合い隊 連携支援事業 北部異業種交流会を初開催！

本会では、助け合い隊連携支援事業として、去る10月14日（金）に丹後地域地場産業振興センター（アミティ丹後）において、北部異業種交流会を初開催し、15組合32名、行政・関係機関36名、計68名が参加した。

交流会の冒頭には、山下晃正京都府副知事に「助け合い隊事業に期待すること」と題してスピーチを行っていただき、それぞれが持つ人脈やネットワークを活かし、新たなビジネス創出や新分野進出に臆せず取り組んで欲しいとの期待が語られた。

その後の交流会では、普段接する機会の少ない北部と南部の事業者が活発に交流を行い、参加者からは「なかなか知り合うことのない方と話をすることができ、今後に繋がる話もできた」、「交流の中で新たな取組事例を知ることができた」など、ビジネスに繋がる良い機会であったとの声が多く聞かれた。

また、交流会前には山下副知事と北部の若手経営者7名との懇談会が行われたほか、丹後機械工業協同組合の(株)尾崎鐵工、丹後織物工業組合の田勇機業(株)の工場見学を実施するなど、本会の持つネットワークを十二分に活かした北部と南部の組合・企業が交流する有意義な事業となった。



阪口会長 開会挨拶



山下副知事 スピーチ



交流会会場

その言葉 言ってもいいの かんがえて 心にのこる きずはきえない

京都人権啓発推進会議／京都府中小企業団体中央会

SDGsセミナーを開催

2030年までの達成を国際目標とする「SDGs」は、17のゴール（目標）・169のターゲットから構成され、その考え方は、世界の共通認識となっており、中小・小規模事業者にとって再成長の機会としてとらえられることから、SDGsの取り組みは企業の成長につながる可能性がある。本会では、去る10月6日（木）京都経済センターにおいてSDGsとは何か、経営にとってなぜ必要なのかなどの基本や経営への活かし方を理解するため、会場参加とZoom参加のハイブリッドでセミナーを開催、23名が参加した。講演、事例発表に加え、京都市より、きょうとSDGsネットワークの取り組みについて、京都SDGsパートナー制度など説明いただいた。

本セミナーの第1部では、アクセルコンサルティング株式会社 経営コンサルタントで、中小企業診断士の石井規雄氏を講師にお招きし、「SDGs経営 取り組みのヒント」をテーマにご講演をいただいた。

講演では、社会は今、ビジネスの転換点にあり、企業は、地域・環境・社会との共生なしでは生き残っていけないため、SDGsが、世界の共通言語となっていること、SDGsの認知率は86%を超え、環境・社会の変化による経営リスクを回避するためにはSDGsに取り組みざるを得ない時代になってきていると解説された上で、社会課題の解決は、顧客課題の解決とも考えられ、環境・社会へ配慮することによる新たなビジネスチャンスもたくさんあるため、SDGsを経営に取り入れることは、企業に様々なメリットをもたらすとされた。

また、自社の経営にSDGsを当てはめるだけではなく、持続可能な社会の実現に向けて、何が貢献できるか、自社がどのように変容していくかが求められており、自社の強みや社会課題を自己分析した上で、先ずは実践可能なゴール（目標）から取り組みれば良いこと、さらに、中小企業はリソースが不足しているため、社会と自社により大きな効果（インパクト）を与える、影響度の大きい社会課題に絞り込み取り組んでいくと良いこと、自社だけで解決できるものではないので、組合や地域など多様な主体の協働によって社会課題の解決を図っていく必要があるとされた。

第2部では、会員組合の2事業所よりSDGsに取り組んだきっかけや取り組み内容などの事例発表をしていただき、その後、講師の石井氏のコーディネートにより更なる深掘したお話を引き出していただき、SDGsに対しての理解を深めた。

事例発表の一人目に、京都電工株式会社 代表取締役 河村泰三氏（京都府電機商業組合 理事長）に発表いただき、京都府電機商業組合の加盟店数は、家電量販店の台頭もあり、この15年で、700店から410店にまで減少した。どうすれば小売店が生き残ることができるかが組合（業界）の課題であり、街の電気屋さん単なる家電屋ではなく、少子高齢化により起こってくる家電難民を救うため、地域電気店として「お困りごと解決業」として、地域のインフラになることで持続可能な経営を行っていくことが必要と述べられた。

また、会社においては、東日本大震災をきっかけに日本のエネルギー事情に危機感を持ったこと、街の電気屋さんだからこそできるSDGsとして省エネ・商エネ、発電所運営等に仲間をグループ化して取り組んでいること、社長自身も含めた社員の健康経営や技能・資格手当の導入では、スキルアップする人材を評価することにより「働きがい」を創出し、社員のモチベーションアップが業績アップにつながる、3Rの実践など取り組み発表いただいた。

事例発表の二人目では、公栄精密株式会社 代表取締役 野口裕介氏（協同組合日東協力会 理事）から、京都銀行のSDGs宣言サポートを受け、「こだわりの品質」、「健康経営優良法人」、「社会貢献」、「環境配慮経営」の4つをテーマにSDGsの取り組みを宣言したこと、何から始めればよいのかよく分からない中、SDGsに取り組む意味や取り組みに対してのアドバイスを受け、PR方法等も学んだこと、我々のような小規模事業者でも宣言できるし、企業価値（ブランド力の向上）にもつながること、職場環境の向上を行えば、従業員にも良い影響を与え、サステナビリティ（持続可能な）経営にもつながるなど事業の成長も期待でき、投資をせずとも身近な習慣から意識していくことが大切と発表いただいた。



講師（石井規雄氏）



事例発表①（河村泰三氏）



事例発表②（野口裕介氏）

引き続き、セミナー講師の石井氏にコーディネーターとなっただき、SDGsに取り組んだ効果や社内の変化、今後の抱負等についての投げ掛けに対し、河村氏からは、業界の課題として取り組んできた結果、組合員の減少が下げ止まりしてきていること、また、自社においては、ホームページにもSDGsへの取り組みなどを公開し、PRしてきた結果、初の新卒採用にもつながるといった効果が報告された。今後は、電気に携わる者として、エネルギーにどう関わるかを更に考え、カーボンニュートラル宣言に対して、組合として全面的に協力していきたいとの抱負を述べられた。石井氏からは、宣言し、公表することにより外部が見てくれること、就職活動をする人は、ホームページを必ず見る時代であり、環境・社会に配慮している企業が選ばれる時代であること、組合員の事業所が地域のインフラになるという考え方は、とても大切なものであり、自社の取り組みは、組合（業界）の取り組みに波及するとコメントされた。

野口氏からは、SDGs宣言はしたが、取り組みはまだ途中であること、ホームページや名刺に取り組んでいることを示し、大企業等に対するアピールとしていところ、組合の中では、早くに取り組み始めたほうなので、今後、組合内に横展開していけるようアピールしていきたいとの抱負が述べられた。石井氏からは、SDGsは、一歩先に行く取り組みであり、自分達で取り組んでいくためにも大きい小さいではなく、当たり前なことでも良いので、先ず宣言することが大切であること、ゴールの17番はパートナーシップ、自社では限界があるので、周りを巻き込んでいくことも大切であるとされ、まとめとして、まず宣言することが大事、取り組んでいる内容の大きい小さいは関係なく、SDGsを理解し、自社を見つめながら何かしらの行動を変えていくことが重要で、宣言することで決意が固まると結ばれた。



質疑応答の様子

今回のセミナー開催案内時にアンケート調査を行い、会員組合等46組合（社）より回答いただいた。設問（1）の「SDGsの認知度・取組状況について」では、全体では③「内容は知っているが、特に取り組みは検討していない」が最も多く、①「既に取り組んでいる」と②「取り組みを検討している」を合計すると56.5%と半数以上が取り組みに前向きなこと、③を含めた認知率では、89.1%と浸透していることが伺えた。また、設問（2）の「SDGsに取り組む目的について」では、すべての業種において①「社会的責任の達成」が最も多く、次いで③「新たな事業機会の創出」と続き、ビジネスチャンスに期待していることが伺えた。

集計結果は次の通り。

SDGsの取り組みアンケート結果（有効回答数46）

業種内訳 製造業（14）、建設業（8）、運輸業（3）、卸売業（7）、サービス業（5）、小売業（4）、その他（5）
※複数の業種で構成する組合は、「その他」にて集計。

設問（1）貴組合（貴社）でのSDGsへの認知度・取組状況について。（数値は%）

	全体	製造業	建設業	運輸業	卸売業	サービス業	小売業	その他
①既に取り組んでいる	26.1	35.7	25.0	33.3	28.6	0.0	0.0	40.0
②取り組みを検討している	30.4	28.6	12.5	33.3	42.9	40.0	25.0	40.0
③内容は知っているが、特に取り組みは検討していない	32.6	28.6	37.5	0.0	14.3	60.0	75.0	20.0
④言葉を聞いたことがあるが、内容は知らない	8.7	7.1	12.5	33.3	14.3	0.0	0.0	0.0
⑤取り組む予定はない	2.2	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

業種別では、①と②を合計すると製造業（64.3%）、運輸業（66.7%）、卸売業（71.4%）、その他（80%）が50%を超えている。

設問（2）貴組合（貴社）のSDGsに取り組む目的について（複数回答可）。（数値は%）

	全体	製造業	建設業	運輸業	卸売業	サービス業	小売業	その他
①社会的責任の達成	65.2	57.1	62.5	66.7	57.1	100.0	50.0	80.0
②企業イメージの向上	19.6	14.3	37.5	33.3	28.6	0.0	25.0	0.0
③新たな事業機会の創出	30.4	28.6	37.5	0.0	42.9	20.0	25.0	40.0
④取引先との関係維持	10.9	14.3	0.0	0.0	28.6	20.0	0.0	0.0
⑤その他	2.2	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

京都府中小企業女性中央会・京都府中小企業団体中央会 MOCO フォーラムを開催

本会の女性部組織である京都府中小企業女性中央会（伊庭節子 会長：本会理事・八島おかみさん会会長）との共催により、9月28日（水）、京都ガーデンパレスにおいて、『MOCOフォーラム』を開催、約30名が参加した。

本フォーラムは、本会と京都府中小企業女性中央会が連携し、京都府内の中小企業経営や中小企業組合活動に携わっている方々を対象に、誰もがイキイキと輝き更なる活躍を応援するため、資質の向上、地域や業種を越えたネットワークづくりを目的に毎年実施しており、本年度は、『健康経営』をテーマに掲げ、中でも、崩れた姿勢は接客・営業時の印象の悪さだけでなく、腰痛・肩こり、疲れやすさによるパフォーマンスの低下にもつながることから、正しい姿勢について学んだ。

第1部のセミナーでは、協同組合カイロプラクティック新京都 理事長の八田美紀子氏を講師に招き、「『健康と姿勢』～健康は正しい姿勢から～」をテーマに講演を拝聴した。

八田氏は、生活習慣や癖が筋肉の歪み、骨格の歪みにつながり、身体の歪みが痛み、痺れ、麻痺につながると解説され、「身体は繋がっており、部分的ケア、対処療法では一時しのぎにしかならず、身体全体を見ていく必要がある。SNS等でたくさんの情報があるが、間違った情報に惑わされないように、身体の仕組みについて理解を深め、早期に運動で改善する0次予防が大切である」と説かれた。

第2部の交流会では、和やかな雰囲気の中で情報交換が行われ、連携・交流を深める有意義な場となった。



第1部セミナー



主催者挨拶：
女性中央会 伊庭会長



講師：八田美紀子氏



身体の傾きチェック

国家公務員倫理月間 12月1日～31日

企業の皆様へ ～倫理法・倫理規程を御存知ですか？～

- ☒ 企業の皆様と国家公務員が接する際、国家公務員には一定のルールがあります。
- ☒ 国家公務員との飲食や贈答品のやりとりなどには、御注意ください。

禁止行為

企業と「利害関係」（契約関係、許認可の申請、立入検査を受ける等）のある国家公務員に対し、例えば以下の行為をすると、相手方の国家公務員が倫理法違反に問われます。

- 金銭、物品等（祝儀、香典などを含む。）の贈与をすること
- 車による送迎など無償のサービスを提供すること
- 供応接待をすること（国家公務員が「自己の費用」を負担している場合、飲食は可能）

国家公務員倫理審査会 <https://www.jinji.go.jp/rinri/>

税を考える週間
これからの社会に向かって

11月11日
11月17日

一人ひとりの納税が
社会の中で実ります

税を考える週間 検索
<https://www.nta.go.jp>

国税庁

外国人技能実習制度適正化事業 令和4年度講習会を開催【南部会場】【北部会場】

外国人技能実習監理団体の許可を受けている府内の組合を対象に、令和4年9月21日（於：京都経済センター）と9月29日（於：綾部市ものづくり交流館）に「外国人技能実習制度適正化事業講習会」を開催した。

講習①では、技能実習生の出入国在留の現状、失踪等の防止策、技能実習制度の見直し状況等について、大阪出入国在留管理局の石原統括審査官から丁寧な説明があった。講習②では、（公社）東京労働基準協会連合会の古賀中央支部事務局長、上島常務理事より、労働基準監督署の指導等の状況、技能実習生の労働災害の特徴、トラブル事例、防止策等に関し、わかりやすく説明があった。約40名の監理団体・行政関係者等が参加し、それぞれの講習で監理団体や実習実施企業における技能実習制度の適正な運営に役立つ情報の提供がなされ、参加者は熱心に聴講されていた。



アイシーエル 人材育成研修

貸し研修室、
人材派遣も
承ります

マナー研修

管理職研修

パソコン研修

組合様主催の研修企画など
お気軽にお問い合わせください♪

中央会特別会員

icl

株式会社アイシーエル

☎075-708-7253

URL <http://www.icl-web.co.jp> E-mail training@icl-web.co.jp

〒600-8413 京都市下京区烏丸通仏光寺下ル大政所町 680-1 第八長谷ビル 10F

詳細・お申し込みは Web サイトへ

アイシーエル 検索

営業時間 9 時～18 時（土・日・祝日は休業）

事業主のみなさま

労働保険の成立手続はお済みですか

◇ 11 月は「労働保険未手続事業一掃強化期間」です ◇

労働保険とは、労災保険と雇用保険の
2つを併せた保険のことをいいます。

お問い合わせ

京都労働局 総務部 労働保険徴収課

電話 075-279-3220

または最寄りの労働基準監督署・

公共職業安定所まで

京都労働局ホームページ

<https://jsite.mhlw.go.jp/kyoto-roudoukyoku/home.html>

労働保険とは、労働（通勤）災害や失業等が発生した際に、保険給付等を行うことにより労働者の福祉の増進を図る制度です。労働保険は政府が管理、運営している強制保険です。原則として、労働者を一人でも雇っていれば労働保険の適用事業所となり、事業主は成立手続（加入手続）を行わなければなりません。

特許・商標・意匠・実用新案等 知財に関する悩みや課題は ありませんか？

知財の重要性への
“気づき”の
きっかけづくりから
手厚くサポート



相談無料・秘密厳守

「INPIT京都府知財総合支援窓口」では、
特許や商標など知的財産に関するさまざまな悩み・課題について
幅広く相談を受け付け、窓口に着駐する窓口担当者のほか、弁理
士等の専門家や関係する支援機関と連携してワンストップサービ
スを無料で行います。

まずは、INPIT京都府知財総合支援窓口まで

お電話ください。Tel. **075-326-0066**



事前予約制

開設時間

月曜日から金曜日（祝祭日、お盆休み、年末年始除く）

9:00～12:00 13:00～17:00

お問合せ先

「INPIT京都府知財総合支援窓口」（京都発明協会）

TEL : 075-326-0066

FAX : 075-321-8374

INPIT京都府

検索



アクセス

京都市下京区中堂寺南町134 京都リサーチパーク内

東地区 京都府産業支援センター2階

鉄 道：JR丹波口駅 下車 徒歩約5分

バ ス：京都リサーチパーク前 下車 徒歩約4分

駐車場：東地区地下有料駐車場：100円/20分



受託機関 一般社団法人 京都発明協会

■引き続き今後の動向に注視が必要

	業界景況 天気図	概 況
全 体	8月 → 9月  	原油・電力料金等の高騰、各種原材料の値上げは続いており、コストアップへの対応に苦慮していることが窺える。コロナ禍により大きく落ち込んだ状況からは徐々に脱しつつあるが、長引く苦境に経営体力は消耗しており、引き続き今後の動向に注視が必要である。
製造業 8月  ↓ 9月 	繊維工業  	原料生糸の大部分を輸入に頼っているため、原料費が高騰している。加えて、エネルギー高の影響で蒸し加工などのコスト高が進んでいる。一方で、生産現場は零細の個人事業主・家族型経営が中心であり、収入が不安定な中で高齢就業者が中心をなす生産体制には大きな危機感が高まっている。
	出版・印刷  	新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢の影響により、売上の減少、資機材の調達困難など厳しい経営環境が続いている。また、原材料価格の高騰にも苦慮している。
	鉄鋼・金属  	全体的に厳しさを増している。秋以降、来年も大きく好転する材料も見当たらない。自動車関係は、依然として半導体不足や材料不足及び材料価格の高騰が収まらず、収益状況が悪化し資金繰りも悪化している。
	一般機械等  	受注は増加しているが原材料の調達難、人手不足を背景に納期管理が困難な状況が続いている。有効求人倍率が上昇傾向にあり、採用難が更に進むことを懸念する。
	その他製造業  	紙製容器製造業では、全体的に前年同月と比べ好転しているが、景況はコロナ禍前の水準には戻っていないようである。値上げのアナウンスは頻繁にあるようだが、具体的な上げ幅、時期については動きがない。そのことから、年末の繁忙期と重なるタイミングでの値上げが懸念されている。
非製造業 8月  ↓ 9月 	卸 売  	繊維・衣服等卸売業では、円安と原油高の影響で、原材料の糸や白生地、染色加工のエネルギーコストが高騰しており、製品価格の値上がりにより流通の停滞を招いている。一方で、和装、洋装、寝装の平均売上が10カ月連続前年を上回り、コロナ禍からの回復傾向が顕著に表れている。
	小 売  	各種商品小売業では、昨年は、9月末まで緊急事態宣言が発出されていたため、昨年とは比べべくもないが、観光は引き続き着実に復調の流れにある。しかしながら、コロナ禍前にはまだまだ大きく及ばない状態である。
	商 店 街  	今月に入って感染者数も徐々に減り、県民割りや入国規制の緩和も手伝って、休日には旅行者が増えてきたようだが、平日は相変わらず人通りが少ない。売上はコロナ禍前の4割から半分くらいに回復してきたようだ。このまま秋の観光シーズンにつなげていければと願っている。
	サービ ス  	旅行業では、「きょうと魅力再発見旅プロジェクト」の延長効果もあり、全体のクーポン発行高は対前年同月比1068.09%、クーポンの発行件数は716.67%となった。とはいえ、2019年コロナ禍前との比較では全体で約51%と、やっと半分という結果であった。
	建 設  	次世代の跡継ぎがいらないなど事業継承が困難な場合、事業主が高齢となり事業を廃業せざるを得ないケースが出てきている。仕事はだんだんと通常の業態に戻りつつあるが、各種資材の高騰、熟練技術者の確保難などにより経営環境は予断を許さない状況である。
	運 輸  	道路旅客運送業では、燃料（LPG、ガソリンなど）は未だ高止まりをしており、経営を大きく圧迫したままである。石油製品をはじめとして、食料品なども順次値上げの傾向にある。秋の観光シーズンには入洛客に期待を寄せるが、物価高騰の影響により、利用客がタクシーの乗り控えに走るのではないかと危惧している。

 快晴 DI値 40以上	 晴れ 20~40未満	 曇り 20未満~△20未満	 小雨 △20~△40未満	 雨 △40以上
---	--	---	--	---

※DIとは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、好転（増加・上昇）したとする割合から、悪化（減少・低下）したとする割合を差し引いた値です。



人を思う。未来を思う。

商工中金

新型定期預金

マイハーベスト



有利な金利設定

通常の債券・定期預金（固定金利）より 高めの金利（当金庫内比較）
をご提供します。ただし、原則として満期日前の解約はできません。



1年、2年、3年から期間が選べる

将来の計画に合わせてお好きな期間を選べます。

- お預け入れは、50万円以上 1円単位です。
- お預け入れは、個人のお客さまに限らせていただきます。
- 詳しくは店頭のチラシまたは ホームページをご覧ください。

商工中金 京都支店

〒600-8421 京都市下京区綾小路通烏丸西入童侍者町 159-1

TEL 075-361-1120

<http://www.shokochukin.co.jp/>



人を思う。未来を思う。

商工中金



助け合いプラットフォーム イベント情報大募集!!

「助け合いプラットフォーム」にて、組合が開催するイベントや事業の広報・周知に利用していただけます。

これから開催する秋冬の催事など組合事業を専用サイトに公開することで、一般からの参加を広く募ることができますので、ぜひご利用ください。利用に際しましては、本会の各組合担当者又は以下の連携応援チーム担当者にご一報いただくか、QRコードから専用サイトに入り、登録いただくこともできます。

連携コーディネータがお手伝いいたしますので、まずは、お問い合わせ下さい。

ご登録はこちらのQRコードからお願いします。



お問い合わせ 京都府中小企業団体中央会
連携応援チーム 担当：石田・中尾
TEL 075 (708) 3701
メール renkei@chuokai-kyoto.or.jp

なが——い、おつきあい。

事業資金ニーズに応える豊富なメニュー

ビジネスパートナーをご紹介

資金調達

ビジネスマッチング

企業の資本政策・成長戦略をサポート

海外でのビジネスをサポート

事業承継・M&A

貿易・海外取引



京都銀行はさまざまな
シーンで皆様を応援します！

◀詳しくはこちらをご覧ください

飾らない銀行

京都銀行

月刊中小企業連携組織活性化情報 協同

11/2022 令和4年11月10日発行 通巻911号

●編集・発行●

京都府中小企業団体中央会

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地 京都経済センター3階

☎ 075-708-3701 FAX 075-708-3725

URL <http://www.chuokai-kyoto.or.jp> E-Mail web@chuokai-kyoto.or.jp



表紙タイトル「協同」背景色は、京都府印刷(工)が京にゆかりのある名前を付した12色を創作したうちの「高雄もみじ色」です。